

保護者からの事業所評価の集計評価表（公表）

公表：令和6年3月21日

事業所名：富里市簡易マザーズホーム

保護者等数（児童数） 26 回収数 24 割合% 92%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	御意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24					
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	3		1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 <sup>I</sup> になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	22	1		1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24					
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画 <sup>II</sup> が作成されているか	24					
	6	個別支援計画は、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」について、具体的な支援内容が設定されているか	22	1		1	地域支援はわからないので教えてください。	共通認識の基にお子さんを支援できるよう、幼稚園や保育園、こども園、医療機関等と連携を図っています。個別支援計画に記載されていますので、ご確認ください。
	7	個別支援計画に沿った支援が行われているか	22	2				
	8	活動プログラム <sup>III</sup> が固定化しないよう工夫されているか	21	1		2		
保護者 への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1				
	11	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24					
	12	保護者に対して家族支援が行われているか	22	1		1		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	22	1		1	・担当の先生、他の先生方にもしっかり話を聞いてもらっています。 ・いつも悩みなど色々聞いてもらっています。子供の出来る事が増えると一緒に喜んで貰ってもらえるのが親子共々嬉しいです。	お子さんの健康や発達の状況を正確に把握し、個別支援計画に沿って支援できるよう、担当制をとっています。今後も保護者の方々とお子さんの成長を共に喜べるよう、お子さん一人ひとりの成長発達を目指して関わっていきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22	2			困った時、担当の先生に助けて頂いています。	出席人数が多い日など、すぐにお話しを伺うことができない時もありますが、事前にお声掛けいただくことで、相談の時間を設定しますので、お気軽にお声掛けください。
	15	保護者同士が交流する時間や行事等が設けられているか	21	3			・保護者交流会、楽しかったです。 ・保護者交流会に参加して、違うクラスのお母さん達とお話し出来るととても良かったです。またあったら参加したいです。 ・先生が一人間に入ってくると会話しやすいかも。	昨年度の事業所評価にて『他クラスの保護者とも交流をしたい』との要望があったことから、企画・実施しました。他クラスの保護者と話しをする交流会、喜んで頂けて良かったです。来年度も夕涼み会等のイベントと保護者交流会を実施する予定です。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21	3				
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	1		1		
	18	定期的に園だより等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	23			1		
非常時 等の 対応	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24					
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	24					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24					

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24			「明日はマザーズだよ」と言うと「明日は誰が来るかな？」や「先生に会えるかな？」と言って登園するのが楽しみにしています。	通所を楽しみにしているという回答を頂き、職員一同、嬉しく思います。家族以外の人との関わりを楽しみにできる＝対人関係の拡がりを感じますね。
	23	事業所の支援に満足しているか	24				

\*裏面に文中Ⅰ～Ⅲの注釈あります。

(注釈)

- Ⅰ 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- Ⅱ 「個別支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- Ⅲ 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的をもって行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

(保護者等の皆様へ)

- この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者に事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入してください。「御意見」は今後の参考にさせていただきます。